

「とねっと」に参加しましょう

「とねっと」を利用すると、血液検査や調剤の情報などが「とねっと」参加医療機関内で共有されます。より安全で安心な医療を受けることができるようになりますので、ぜひ「とねっと」に参加しましょう。

■参加方法

「とねっと」参加受付窓口または参加医療機関にある「参加（利用）同意書」に記入の上、本人確認ができる書類（保険証または免許証等）を添えて、参加受付窓口へ提出するか、「とねっと」事務局へ郵送してください。提出後約2週間で、かかりつけ医カードが届きます。かかりつけ医カードは、「とねっと」に共有されている医療情報を呼び出すために使われます。

※参加受付窓口 健康医療課、中央・菖蒲・栗橋・鷲宮の各保健センター



■とねっとの活用事例 ※埼玉東部消防組合からの情報提供

●ケース1 年齢 93 傷病名 意識障害 性別 男

概要 施設職員が様子を見に行ったところ、呼びかけに反応がなく呼吸も弱いため救急要請

使用状況 施設入居者のため家族から直接情報は得られず、施設資料のみの情報であったため、「とねっと」情報との相違がないか確認することで確実な情報を病院へ伝えることができた

●ケース2 年齢 52 傷病名 急性心筋梗塞 性別 男

概要 事務作業中、突然胸痛を発症したもの

使用状況 傷病者本人からとねっと加入を聴取り、負担をかけることなく、病歴・かかりつけ医等を把握、スムーズに収容先病院の決定、医師等への申し送りができた。

問 健康医療課地域医療係（内線 3424）

令和2年12月1日に、市指定文化財として「足利遺跡出土旧石器」と「佐間小草原遺跡出土遺物」の2件が新たに指定されました。いずれも昭和40年代の発掘調査で発見された考古資料です。佐間小草原遺跡については、「久喜歴史だより」第67回（市ホームページで公開中）でも紹介しましたので、今回は足利遺跡出土旧石器について紹介します。

足利遺跡は本町小学校の建設に先立ち、昭和47年に発掘調査が行われました。遺跡では、今から1万2千年以上前の後期旧石器時代後半の石器11点のほか、縄文時代の土器や石器が大量に発見されました。久喜周辺で旧石器時代の石器が見つかったのはこれが初めてで、狩猟の際に槍先として使用されたナイフ形石器や尖頭器、木材や骨などに埋め込むことでナイフのよう

足利遺跡出土旧石器

連載 久喜歴史だより（第11回）

昭和の発掘調査で大発見 足利遺跡の旧石器

にして使用された細石刃、木材や骨・皮などの加工に使用されたスクレイパーなど、さまざまな種類の石器が揃っています。

全国的に見ても、旧石器時代の遺跡は縄文時代以降の時代の遺跡と比べて発見が難しく、時代別に遺跡数を比較したときに最も少ないのが旧石器時代です。近年でこそ発掘調査が進み、本市でも道合中遺跡や九宮2遺跡など旧石器時代の遺跡が増えましたが、足利遺跡の旧石器は昭和40年代という発掘事例の少ない中で発見されたという点で、大きな意義があります。

今回紹介した足利遺跡出土旧石器と佐間小草原遺跡出土遺物の一部は、久喜市立郷土資料館にて2月9日から3月31日まで展示します。久喜市の新たな指定文化財を、どうぞよろしくお願ひします。

問合せ 文化財保護課文化財・歴史資料係（内線382）